

人生峠道

松下 幹生

人は生まれて 育つ時
自分の先に 山を見るのさ
己れが目指す 喜望峰
一步坂道 昇る度
荷物が1つ 増えていく
経験と 知識を拾い
己れの為に 背負うのさ

人に抜かれて 悔やむなよ
人には人の 道があるのさ
自分が決めた 頂(いただき)へ
自分を信じ 突き進む
険しい谷も 丘もある
誘惑も 酒も涙も
己れを磨く 糧(かて)になる

伴侶と共に 頂(いただき)へ
苦勞を分かち 東雲(しののめ)を見る
下りは背負う 荷を配り
自分が得た荷 人に与えて
人生觀を 論(さと)すのさ
共に歩いた 人を讃えて
終(つい)の棲家(すみか)の 花畑

人生峠道

松下 幹生

人は生まれて 育つ時
自分の先に 山を見るのさ
己れが目指す 喜望峰
一步坂道 昇る度
荷物が1つ 増えていく

経験と 知識を拾い
己れの為に 背負うのさ

人に抜かれて 悔やむなよ
人には人の 道があるのさ
自分が決めた 頂(いただき)へ
自分を信じ 突き進む
険しい谷も 丘もある
誘惑も 酒も涙も
己れを磨く 糧(かて)になる

伴侶と共に 頂(いただき)へ
苦勞を分かち 東雲(しののめ)を見る
下りは背負う 荷を配り
自分が得た荷 人に与えて
人生觀を 論(さと)すのさ
共に歩いた 人を讃えて
終(つい)の棲家(すみか)の 花畑